

Pal

～仲間



2014
Summer Edition
Vol.82

外国人ママの会 カレー作りと予防接種の勉強会

2014年6月4日(水)
午前11時～午後1時

「自分たちの抱えている問題を自分たちで解決できるように」と国際化協会では、外国につながりを持つ人たちのグループの活動に、いろいろな形で支援を行っています。

この日は、日頃、家で子どもたちと2人きりで過ごすことのお母さんたちを集めて、一緒に昼食作りをしました。

カレーを煮込んでいる間に、予防接種についても勉強。多言語で作られている予防接種の案内リーフレットを使って、グループのリーダーで、市内の病院で通訳として働く石間フロレデリサさんに、日本の予防接種の制度について説明してもらいました。

日本の予防接種の仕組みがわからないから、母国で予防接種を受けさせていたというインド人ママもいて、顔を見ながら説明する機会の必要性を感じました。

出来上がったカレーをいただきながら感想を聞いてみると、「子どもが幼稚園にいて、いつもお昼ごはんは一人で食べているので、今日は楽しい」という方など、友だちができてうれしい、という声が多く聞かれました。早くも次に集まる機会を作ろうという話が出て、まずは大成功。継続的に集まれるグループができるまで、これからも支援を続けていきたいと考えています。



まずは、カレーを仕込んでから…



予防接種について勉強



子ども達も友達づくり



いただきます！

Contents

通訳窓口から相談窓口へ	2～3
Hello Everybody! ～外国人市民インタビュー～	4
もう一回！行ってみたいあの店この店【インド・ネパール料理「サガルマタ」】	5
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ	6
国際化協会設立20周年記念事業	7
大和市内国際関係団体一覧	8

通訳窓口から相談窓口へ

外国人市民の抱える課題と向き合って20年、通訳員窓口の今。

今年の7月に設立20周年を迎える国際化協会で、20年前からいままでずっと続けている事業の一つに、「外国語通訳」事業があります。

非常勤職員である通訳員が、市役所や市立病院などの窓口で、外国人市民と行政職員がスムーズにコミュニケーションを図ることができるように、言葉を介してお手伝いしているもので、最初は英語とスペイン語の2言語からスタートしました。いまでは、中国語、ベトナム語、タガログ語の3言語が加わって、5人の通訳員が外国人市民からの相談に応じています。

あるスペイン語通訳窓口の一日

写真と本文は関係ありません。



9:00 ス페인語通訳の窓口は、年間1000件以上もの相談に対応する忙しい窓口。午前は大和市役所の2階にある、国際・男女共同参画課の一角で相談に応じます。継続して対応している相談を引き継いだり、新しく届いた情報を整理したりしながら、依頼者が来るのを待ちます。

9:30 最初の依頼者が来ました。私立高校に通う息子の学費、修学旅行費の支払いについてとその軽減に関する申請書の書き方を教えてほしいとの相談です。封筒の中には10枚の書類が。通訳員が丁寧に目を通して間に、続けて2番目、3番目の相談者も窓口を訪れます。

結局、手元にある書類だけでは、手続きの方法が分からず、学校に電話をかけて問い合わせることに。お待たせしないように対応しなければ、と気が急ぐ場面では、日本人にとっても読みにくい書類が多くあります。

お金がなくて修学旅行に行かせることができない、というお父さんの相談も学校に伝えますが、授業の一環なので何とか用意してほしいとの回答。申請書の書き方と添付する書類を説明して、1件目の相談は終了しました。



10:00 2件目は、お隣の市の学校に通う女の子のお母さんからの相談で、学校からの通知が読めないとのこと。健康診断の結果、心臓の2次検査を受ける必要がある、と書かれていました。大切なお知らせなのに、ちゃんと伝わっていません。元気なので心配ないとお母さんは言いますが、何かあっては大変なので自分で判断しないで、受けさせるよう伝えます。最後は通訳がいる大和市立病院で検査が受けられるように手配をして、相談が終了。

10:15 3件目は、募集が行われている最中であった市営住宅の申し込みについて。応募条件を確認したところ、該当しないことが分かり断念せざるを得ませんが、なかなか納得できない様子。11月から始まる県営住宅の募集に応募するよう勧めます。

10:20 4件目は、届くはずの国民健康保険証が届いていないとの問い合わせ。ポストに郵便局からの不在者通知が入っていましたが、よくわからなくて電話していなかったとのこと。保険証は市役所に戻ってきていたので、受け取り手続きをして、無事本人の手元へ。手続きの合間には、娘のことで心配があるとの相談も。担任の先生に電話をして、指導してもらえるようお願いしました。

10:40 相談者はひっきりなしに訪れます。次の相談は、2日後に病院に入院するという男性から。受ける手術の内容と注意事項が事前に病院から渡されていますが、もちろん日本語。大切な情報なのでゆっくり説明します。病院に出す3通の書類の記入も手伝いました。

この男性が持ってきた2つ目の相談は、届いたばかりの市県民税の納付額が高い、というもの。市民税課の窓口に移動して調べてもらうと、家族が扶養に入っていないことが分かりました。この時期非常に多い相談です。確定申告がちゃんとできていればこのようなことにならないのですが、仕組みをうまく伝えられていない反省があります。



10:55 この後も相談は続きます。振り込まれるはずの国税の還付金が振り込まれていないという相談には、税務署へ電話をかけて調べてもらいます。振込みをしなければいけないけれど、機械の使い方が分からないという相談には、市役所の敷地の中にあるATMまで付き添って対応。20歳になった娘の国民年金についての相談は、学生である本人が窓口ですでに支払が猶予される手続きを済ませていましたが、説明を受けた母親が理解できず、窓口まで確認に来た、というものでした。娘は、言われるがまま書類を書いて、自分がした手続きをちゃんと理解できていなかったこと、日本語を使って生活しているのでスペイン語では家族に説明できないこと、母親は日本語も日本の年金のシステムもわかっていないこと、いろいろなことが原因で起こる行き違いを、通訳員が整理していきます。

- 11:55** 午前最後の相談は、もう一度市営住宅の申し込みについて。この日は、12時から食事をとることができましたが、相談者が途切れず、午後1時2時まで続く、という日も少なくありません。
- 13:00** 午後からは、国際化協会の事務所に戻ってきて対応します。しばらくは依頼者も訪れず、午前に対応した相談の内容を処理票に記入していきます。この処理票を集計してみると、その時々で外国人市民が抱えている問題が、どのようなものであるのかがよくわかり、私たちが事業を企画するうえで大いに参考になっています。
- 13:45** そうこうしているうちに、市役所から電話がかかってきて、窓口に来ている外国人市民の対応をしてほしいとのこと。行ってみると4人もの依頼者が通訳を待っていました。
- 15:00** この日は、市役所で開設している法律相談に同席してほしいとの依頼が、以前から入っていました。親族間の金銭トラブルがその内容でしたが、このように弁護士との相談の場にも同席して通訳することもあります。
- 16:00** この日最後の相談は、日本語もよくわかる若い女性から。同居している恋人からDVを受けている、というものでした。冷静に話をしていますが、状況をうまく整理できていない様子。どんなに日本語ができて、こういった場面では、母語で相談できる窓口が頼み。アドバイスと励ましを交えながら、より専門性を持った相談窓口へつなげていきます。こういう相談が入ったときに、周りにスペイン語が分かるものがないとはいえ、他の人にも聞こえてしまうような環境で対応しなければいけない状況に、依頼者に対して申し訳なさを感じます。
- 17:00** 通訳員の日が終了。13人の依頼者の相談に対応しました。



市民課では来庁されたご本人についてはもちろん、ご家族についても伺う事があり、細かい事をお尋ねしたい時に通訳さんが居てくださると安心してお話しする事が出来て、非常に助かっています。

市民課 落合さん

■通訳員窓口の20年

	1994年	1999年	2004年	2009年	2013年
英語	1,289件	44件	70件	51件	123件
スペイン語		1,848件	2,186件	2,435件	1064件
中国語	2000年設置		73件	9件	8件
ベトナム語	2002年設置		75件	424件	544件
タガログ語	2009年設置			26件	12件
合 計	1,289件	1,848件	2,404件	2,945件	1,751件

娘が生まれたころからだから、20年はお世話になっているの。誰にすればいいかもわからない小さな質問でも聞いてくれるから、通訳さんには、本当に感謝しています。



ハゲイカルロスさん、ハゲイマリアさん

- 過去一番相談が多かったのは、リーマンショックといわれる金融危機が起こった翌年の2009年。不安定な雇用形態で勤務していた外国人労働者が真っ先に解雇されるという状況に多くの外国人市民が窓口を訪れ、不安を訴えました。
- 20年間を通して、相談件数が増えているものの一つが病院での通訳。特にベトナム語では、相談のほとんどが病院での通訳です。今も人口が増えてきているということもあって、内科や出産に伴う産婦人科の受診をする患者さんが多いです。人口が減ってきていて、定住化傾向にあるスペイン語圏では、糖尿病などの慢性疾患やがんや狭心症など命にかかわる病気の患者が増えています。
- 20年前はほとんどなかったのに、最近スペイン語を中心に増えてきているのが、生活に困窮しているとの相談(福祉制度の活用)と教育(特に未就学児の教育)に関するもの。年金の受給に関する手続の通訳なども出てきて、言葉や制度が日本人と違うことで出てくる相談というよりも、日本人と同じ問題を抱えているのだと感じます。反対に、少なくなってきた相談は、届出に関すること。長く日本に暮らす人が増えてきた中で、自分でできることも増えてきています。

■通訳員による通訳サービス

外国人市民の皆さんからの生活全般に関するご質問やお問い合わせに通訳員が情報の提供を行っています。市役所での手続きや市立病院での診察の際に同行し通訳することもできます。サービスは無料ですのでお気軽にご連絡ください。

言語	曜日	時間	場所	電話番号
スペイン語	火曜日・金曜日	9:00~12:00	大和市役所2階	046-263-8305
		13:00~17:00		
ベトナム語	水曜日	9:00~12:00	(公財)大和市国際化協会 (市役所分庁舎2階)	046-263-1261 046-260-5126
		13:00~16:00		
中国語	第1・3・5木曜日	9:00~12:00		
タガログ語	第2・4木曜日	9:00~12:00		
英語	月曜日~金曜日	9:00~12:00		
		13:00~17:00		



Hello everybody!

外国人市民
インタビュー

私たちが
通訳員です



スペイン語

楠 瑠美子

国際化協会にスペイン語の通訳員として勤めはじめて、もう19年目に入りました。早いものです。パラグアイから移住して来た私にとって、言葉や価値観の違う社会で生活することはとても大変な事でした。でもこの経験をもとに、通訳員として在日外国人にできるだけ多くの情報を伝えることで、日本人と外国人が、安心して日本で暮らしていくための架け橋になりたいと願っています。当たり前ですが、同じ中南米のスペイン語圏といっても、国によって風俗習慣には、少し違いがあります。その間に立つ私には人に知られない苦勞もあります。それでも通訳を続けていられるのは、時に新しい喜びがあるからです。

スペイン語

デルガード 泉

25年4月からこちらでお手伝いをさせて頂いています。一年経って感じたことは、語学だけではこのような場での通訳は成り立たないということです。相談内容は多岐に渡り、かつ切実なものも多く、自分の無知さを日々痛感しています。ですが、お手伝いする度に私自身、知識や経験を積むことができるので充実感があります。日本人の私ですら知らない、わからない事が沢山あるのですから外国人が助けを必要とするのは当然です。これからも引き続き学び続け、的確かつ気持ちの良い対応で外国の方々のくらしのお手伝いのできたらうれしいです。

ベトナム語

ダン グェントゥ ビエン

私の名前はダングェントゥビエンです。2児の母で、子育てをしながら、国際化協会では週一回ベトナム語の通訳をしています。相談に来る人は、市立病院の患者さんがほとんどで、診察などの通訳をします。私は日本に来て20年になります。小学生の時から日本語を勉強していますが、それでも日本語は難しいなと感じることがあります。この仕事をしながらも、分からない言葉や単語にたくさん出会います。その時は自分でネットを使って調べたり、時には病院の先生や多くの日本の方に教えてもらったりしながら頑張っています。これからも、日本での生活や習慣を伝えることで、ベトナムの方々の助けになりたいなと思っています。

中国語

田野井 サイナ

皆さんこんにちは。中国語通訳の田野井です。中国の内モンゴルから留学生として日本に来て17年がたちました。今では3人の子の母親です。通訳員の仕事を長くやっていますが、いつも新鮮な気持ちで対応しています。というのも、いつも違う出会いがあるからです。大和市にはたくさんの外国人が住んでいて、病院での受診や市役所での手続きなどで、どうしても困る時があります。通訳の仕事はまだ日本語がうまく使えない外国人の方を言葉でお手伝いすることです。勿論、グローバルである今の時代では、日本人の市民の皆さんの国際交流への関心も大切だと思っています。なぜなら、外国人の住みやすい町は日本人にとっても住みやすい町であると思うからです♡

タガログ語

岩崎 マリルー

フィリピンから参りました、岩崎マリルーと申します。国際化協会のタガログ語通訳になって5年が過ぎたところです。人を助ける仕事に就くことができ、本当にうれしく思っています。でも、悲しいことに5年が過ぎても、まだタガログ語の相談があまり多くはありません。皆さん大丈夫ですか？困っていませんか？一人だけだと、できない事がいっぱいあると思います。私たちは、快適な生活を送るために、お互いに助けあう事が必要です。一人で悩まないで、相談する事があったら、国際化協会に来てください。待っています。

英語

田中 弘子

皆さんこんにちは。国際化協会の事業担当をしている田中です。協会発足以来、通訳の仕事に兼務してきました。ここ数年は、ナイジェリアなどのアフリカ出身の方や、パキスタンなどの西アジア出身の方からの依頼が増えています。市役所での手続きや市立病院での通訳、日本語で書かれた文書の内容の説明、そして、様々な問い合わせや相談に応じた情報の提供などです。中でも一番多いのが、病院での通訳ですが、事実を伝えることのみで終わる場合ばかりでなく、時には、アドバイスを求められたり、また、話の聞き役に回ったりということもあり、その時々状況に応じた接し方を心がけるようにしています。

TRAVEL SUPPORT Inc

トラベル サポート 海外正規割引航空券
ホテル・現地ガイドの手配もOK

TEL 046(204)7714

E-mail travel-support.h@gol.com



インド・ネパール料理 サガルマタ



大和市のエスニック・エアポケット、
小田急江ノ島線桜ヶ丘駅至近！



サガルマタ、とは
ネパール語で「エ
ベレスト」のこと。

無敵の「ひとりごはん」は、カレーだ！



たとえば残業で疲れて帰ってきた夜に、冷蔵庫が空っぽだったとか、いつものごはん作りから解放されて、一人で自由に食事をとることができるか、約束をすっぽかされて苦手な「ひとり

ごはん」をしなくちゃならなくなったとか、つまり、好むと好まざるにかかわらず、一人で晩ご飯を食べなきゃいけないシーンにおいて、そのメニュー選びで、私は、激しくエスニック料理をおすすめしますが、中でも、カレーは最強だと思います。

なぜならば その①

一つのプレートに全部乗ってくる。

例えばサガルマタのレディースセット。焼きたてふわもちのナンとターメリックライスに、カレーは2種類。シークカバブ(鶏のミンチを串に刺してタンドールで焼いたもの)にチキンティッカ(骨なしの鶏肉をヨーグルトと香辛料につけて焼いたもの)。



2種類のカレーが選べるレディースセット(1,100円・税別)。ほうれん草のカレー(サグカレー)を選べば、胃に重くないので夜遅くでも大丈夫。バターチキンは、ちょっと甘めのカレー。辛さは4段階から選べます。



価格はいずれもディナーの場合。
ランチはさらにお得です。

住 所：大和市福田 2-2-3

電話番号：046-269-6909

営業時間：ランチ 11:00～15:00

ディナー17:00～

(ラストオーダー22:30)

定休日：なし

駐車場：なし

サラダとデザート、ドリンクまで、こんなにたくさんついてくるのに、量はちゃんとひとり分。いろいろ食べたいけれど一人だったら食べきれないという心配がありません。タンドリーチキン(チキンティッカの骨付き版)とシークカバブをおつまみに、中ジョッキをぐびぐび。カレー、ナンカライス、サラダ、デザートがついてくるビールセット(1,350円・税別)なんてのもあります。

なぜならば その②

遅くまであいている。

それなら定食屋さんでもいいじゃんと思ったそこのあなた。定食屋さんって閉店するのが早くないですか？その点、夜の10時30分からだって、しっかり食事がとれるサガルマタなら、遅くなっちゃったからコンビニしかない、という悲しい事態も避けられます。



珍しいネパールのビール(550円)も楽しめます。コースメニューや飲み放題もあるので、ひとりごはんまで気に入ったら、次はぜひ友達を誘って。

なぜならば その③

元気になる。

サガルマタでご飯を食べていると、「辛さは大丈夫でしょうか？」と必ず聞かれます。この、「自分たちの国の料理、お客様の口に合うかな？」というラムさんの気遣いに、「ちゃんと伝わっているかな」と、やさしい日本語を使って返事をする自分。このお互いが少しずつお互いを気遣いあう会話には、気分を入れ替えて前向きにしてくれる効果がある気がします。



だから一人の時こそカレー。スパイスたっぷりこれから季節は夏バテ予防にも。

ラムさんとゴビンダさん。
二人ともネパールのご出身です。

地域密着・顧客密着のクリエイティブ集団

SINCE 1885



似顔絵名刺で
集客! UP

会話の
きっかけに
なる

キャラクターで
売上! UP

一目で
イメージが
伝わる

デザイン

似顔絵
キャラクター

販促支援

印刷

広告

ホームページ



さん太くん

ご相談無料

株式
会社

さんこうどう

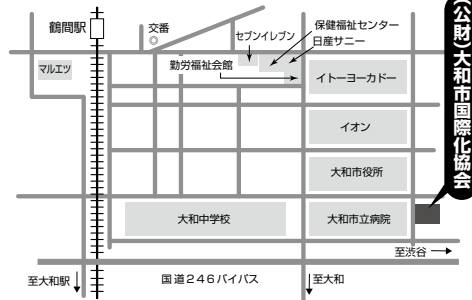
<http://www.sankodo.net>

0120・3510・13

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会
〒242-0018 大和市深見西8-6-12
大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側)
Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127
Email:pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月曜～金曜 第1・3土曜
午前8時30分～午後5時



マークの見方

- …日時
- …場所
- …定員
- …費用
- …対象
- …内容
- …講師
- …お申し込み方法

第9回 にほんごで話そう!日本語スピーチ大会

小学生から成人までの外国人スピーカーが、日頃の思いをにほんごで話します。どなたでも自由に観覧頂けますので、ぜひご来場ください。ガーナカルチャーグループ「アハエデ」によるガーナダンスパフォーマンスもあります。

- 7月13日(日)
午後1時開場 1時30分開始
- 大和市勤労福祉会館3階
(上記地図参照)
- 不要です。直接会場までお越しください。



ハングル(入門)と韓国文化紹介講座

- 2014年9月16日～2015年1月27日の期間に全15回
(2月3日は予備日)
毎週火曜日午後1時30分から3時 全15回
- 大和市役所分庁舎2階会議室
- 内容 簡単な会話と韓国の文化、習慣について学びます
- チェ ヘリン先生
- 対象 初めてハングルを学ぶ方 定員は15名
- 12,500円(プリント教材費込) 賛助会員の方は500円割引
- 7月14日から、国際化協会窓口もしくは電話で先着順に受け付け



夏休み子ども教室

小中学生を対象に、学習支援教室を開催します。夏休みの宿題や日本語の勉強をしたい方はお申し込みください。ボランティアが1対1または少人数グループで支援します。参加希望者を先着順に受け付けます。

- 7月23日(水)、24日(木)、25日(金)、26日(土)
8月20日(水)、21日(木)、22日(金)
全7回 午前9時30分集合 11時30分終了
- 大和市保健福祉センター4階
- 内容 夏休みの宿題、日本語学習など勉強したい内容
- 対象 外国につながる小中学生
- 20名(市内在住を優先)
- 無料
- 国際化協会窓口もしくは電話で先着順に受け付け中



健康セミナー ～料理教室編～

大和市国際化協会は、外国人市民を対象に健康セミナーを開催します。生活習慣病を予防し、おいしくて手軽な食事を実際につくってみませんか?参加希望者を先着順に受け付けます。簡単な日本語で行いますが、通訳が必要な方はご相談ください。

- 8月30日(土) 午前10時～午後1時
- 大和市保健福祉センター3階栄養指導室
- 内容 調理実習(食生活改善推進員による調理指導)
- 対象 外国につながる方ならどなたでも(親子で参加できます)
- 大人:300円 こども:200円(小学生～中学生)
- 20名
- 持ち物 エプロン、三角巾(バンダナ)、食器を拭くタオル
- 7月14日から、国際化協会窓口もしくは電話で先着順に受け付け



やまと世界料理の屋台村出店者を募集します。



10月26日(日)に大和駅東側プロムナードで開催するこのイベントへの出店を希望されるエスニック料理店は、8月1日(金)から当協会窓口もしくはHPで配布する申込書に必要事項を記入して、8月21日(木)(必着)までにお申し込みください。募集数は9店舗で出店料は20,000円です。応募者多数の場合は、同じ国のメニューが重ならないよう、こちらで出品内容(料理)を確認し、調整させていただきます(詳細は応募要項でご確認ください)。

※写真は昨年の様子



国際化協会設立20周年 記念講演会

協会設立20周年を記念して、講演会を開催します。ぜひ、お越し下さい。講演会に先立って、記念式典を開催します。

日時 9月28日(日) 午後1時30分～3時
会場 大和市保健福祉センター 1Fホール
定員 400名
申込み 7月1日から先着順に受け付け。窓口、電話、Emailでお申し込みください。定員になり次第締め切ります。

多文化共生の実現を目指して～大和市の未来は多文化共生から

高齢化、少子化から発生する人口の減少や経済の減速に対する施策として、外国人の受け入れが注目されています。人口減少が続くと日本社会はどのように変わっていくのか、また、外国人の受け入れは日本社会に何をもたらすのか、そして私たちは、それをどのように受け止めていくべきなのか。多文化共生が新しい日本社会のパワーとなるには、何が必要なのかを考えます。



NPO法人多文化共生センター大阪 代表理事

田村 太郎(たむら たろう)

講師プロフィール

兵庫県伊丹市生まれ。高校卒業後、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南米などを旅する。在日フィリピン向けレンタルビデオ店での勤務等を経て、1995年1月、阪神大震災直後に外国人被災者へ情報を提供する「外国人地震情報センター」の設立に参加。同年10月、「多文化共生センター」への組織変更に伴い事務局長に就任、2004年3月まで同センター代表を務めた。総務省「地域における多文化共生推進研究会」構成員として、2006年3月に同省がまとめた「多文化共生推進プラン」の策定に参画するなど、外国人が直面する課題対応のための地域社会変革の仕組み作りを提案し続けている。

2011年3月東日本大震災を受けて、被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)、スペシャルサポートネット関西の発足に関わり、それぞれ代表幹事、世話人を務める。また内閣官房企画官に就任し、被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案にも携わっている。

東日本大震災を受けて内閣官房に発足した「震災ボランティア連携室」で企画官に就任。被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案に携わった。2012年2月より復興庁上席政策調査官(非常勤)。

理事長あいさつ

2014年7月1日、国際化協会は設立20周年を迎えます。

これもひとえに、当協会の設立に携わった関係者の皆様のご尽力、多くの市民の皆様のご理解と市内の団体・企業の皆様のご支援、そしてボランティアの皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当協会は、多くの外国人市民が暮らす大和市において、生活に密着した、地域レベルの国際化を進めるための拠点として、2年の任意団体としての準備期間を経て、1994年に財団法人として設立されました。その後、2011年12月には、公益財団法人の認定を受けております。

1980年代後半から1990年代前半、バブル経済の進展とともに主に日本社会からのニーズによって多くの外国人が来日し、設立当初より、大和に暮らす外国人市民は、右肩上がりが増えていきました。

はじめは互いにカルチャーショックもあったであろうと想像しますが、小さくも心の通った交流を積み重ねることで、地域の中に多様なものを受け入れる土壌が涵養されました。

その後の日本が経験した、2008年の金融危機、また東日本大震災は、外国人市民に様々な変化を及ぼしました。外国人市民の生活を通して日本社会のうねりを感じてきた20年であったように思います。

今また、国内には高齢化や少子化などの大きな課題を抱えつつも、持続可能な社会を目指して、さらに外国につながる方たちの受け入れを進めていこうという流れがあります。

多様性を認め合い、多彩な力が地域を元気にしていく、そのような大和市のこれからに向けて、今後も事業を行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

公益財団法人大和市国際化協会 理事長 小木曾 明

大和市内国際関係団体一覧

団体名	活動場所	活動内容	問い合わせ
NPO法人	かながわ難民定住 援助協会	日本語教室・学習室（および受験教室）の 開催のコーディネート/日本語集中講座・文法 講座の開催	会長 櫻井 ひろ子 TEL/FAX: 046-268-2655 http://www.enjokyokai.org
	教育支援グループ Ed.ベンチャー	●学校支援活動 理論学習会/授業研究会(小5.6教室)/教育 講演会/学校相談・教師相談 ●外国人支援活動 生活相談/日本語教室/保証人事業/すたんど ばいみー基金の会/子どもの居場所・学習支 援教室/当事者活動支援 ●東日本大震災支援事業	代表 浅沼 蓉子 TEL/FAX: 046-272-8980 http://www.edventure.jp/ Email:toiawase@edventure.jp
	日本ペルー共生協会 (AJAPE/アハベ)	●定住外国人の子どもの就学支援 (小・中学生、高校受験生) ●学習支援(小学生、中学生、高校生) ●スペイン語圏の母語による教育相談 ●母語教室(第1～3日曜日午後・文化と共に学ぶ スペイン語) ●スペイン語教室(大人対象土曜日夕方) ●バイリンガル教師養成講座	理事長 パラシオス パウロブスキ アルベルト TEL/FAX:042-799-2023(事務局) TEL:046-264-7070(大和教室) スペイン語 090-7834-6653 http://ajape.org/ Email:ajape@jcom.home.ne.jp
日本語教室	お父さんとお母さんの ための日本語教室	渋谷中学校開放 「下和田の郷」	毎週日曜日 10:00～12:00 Ed.ベンチャー事務局 TEL 046-272-8980
	かけはし	保健福祉センター4階ほか	毎週金曜日 10:00～11:30 嶋澤 常次 TEL 046-276-3830
	かたつむりの会	青少年センター	毎週土曜日 10:00～12:00 葛島 洋子 ※援助協会
	つきみ野 あいうえお	つきみ野学習センター	毎週金曜日 13:30～15:00 山岡 千恵子 TEL 046-293-5435
	日本語サークル おでん	青少年センター	火曜日(月3回) 18:30～20:00 千葉 知義 ※援助協会
	やまと・ともだち	桜丘学習センター	毎週金曜日 19:30～21:00 沢井 和子 TEL 046-275-8310
	やまびこ	保健福祉センター4階	毎週木曜日 19:00～20:30 塚口 伊代子(英語可) TEL 090-4436-8104
	らんどせる	渋谷学習センター	日曜日 11:00～13:00 長谷川 信子 ※援助協会
	大和日本語教室	保健福祉センター4階	毎週日曜日 10:20～12:30 ※学習支援も有 酒井 達男 ※援助協会
	つま読み書きの部屋	保健福祉センターもしくは 生涯学習センター	不定期開催(年3回) 援助協会へお問い合わせください ※援助協会
学習支援室	あけぼの教室	かながわ難民定住援助協会	期間限定(要問合せ) 援助協会へお問い合わせください ※援助協会
	エステレージャ ハッピー	林間小学校開放	毎週土曜日 10:00～12:00 Ed.ベンチャー事務局 TEL 046-272-8980
	高座渋谷学習室	いちようコミュニティハウス	毎週土曜日 13:30～16:00 松井 喜一 ※援助協会
交流団体	バラード	保健福祉センター4階	月1回第2金曜日 国際交流支援活動 中村 勝 TEL 046-263-6905 http://ballade-yamato.com/
	やまと国際フレンド クラブ(IFC)	http://ifc-yamato.com で詳細掲示	●やまと国際アートフェスタ ●夏休み学習教室「学べ〜」など 長谷部 美由紀 TEL 080-5451-0432(IFC事務局) info@ifc-yamato.com

※援助協会…かながわ難民定住援助協会 事務局へお問い合わせください。



http://www.sikirei.com/

大和斎場でのご葬儀もご用命ください。

ゆっくりとお別れのできる 一日一家族の葬儀式場

家族想いの 大和式礼

ご自宅でのご安置にお困りの方、当館霊安室でお預かりできます。

大和式礼 ☎ 0120-143-011 年中無休 24時間受付

大和市大和東 2-9-13 相鉄線・小田急江ノ島線「大和」駅北口より徒歩約6分